

## 公民連携課題リスト

番号	事業名称	事業概要案	掲載日
		背景・目的・課題等	
1	ファミリー・サポート・センター	子育てのサポートをしてほしい人(依頼会員)、子育てのサポートができる人(援助会員)、それぞれが会員となり、地域で子育てを助け合う有償ボランティア活動を支援する事業。事業の周知や会員の増加を図るために子育て交流会の開催、援助会員の増加を図るための養成講習会を開催している。	令和2年3月13日
		事業の認知度が、他事業に比べ低いため、お互いの情報を相互の広報システムやネットワーク等を活用して発信して啓発したい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の増加(特に援助会員)が図りにくいため、対象者に対して魅力的なイベント等を企画、提案、場合によっては開催の協力をしたい。</li> <li>・各種講習会を開催するにあたり、講師を探すのに苦労しているため、研修メニューのノウハウをファミリー・サポート・センター事業で活用したい。</li> </ul>	
2	養育支援訪問事業	養育支援が特に必要と認められる家庭に対して、子育て支援員による家庭訪問での育児相談・支援を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する。	令和2年3月13日
		子育て支援員の確保	
3	健康寿命延伸のための啓発事業	健康寿命延伸のためにあらゆる世代の健康に関心のある人を増やすための啓発活動(イベントなどを含む)を行う。	令和2年3月13日
		少子高齢化により、医療費及び介護費の増大が予測され、介護の担い手の不足等が喫緊の課題であり、地域共生社会の観点も含めた介護予防の体制づくり、健康寿命の延伸が必要である。市民が健康に関心を持ち、健康長寿で持続可能なまちづくりにつなげる。	
4	飯盛山登山道 道標表札の製作と設置	四條畷神社側から飯盛山へ上る登山道に、十分な案内道標や地図看板がない為、登山者にわかりやすい道標表札を製作し、設置する。	令和2年3月13日
		健康志向や、日本100名山ブームの高まり、また、飯盛城跡が続日本100名城に選定されたことなどを背景に、ハイカーは増加している。一方で、登山道の道標が不十分で道に迷ったという意見も度々寄せられている。そのため、本市としても市産業振興ビジョンにも示しているように、ハイキング道などの誘客環境の整備を図る必要がある。	
5	親子で利用しやすい店舗リスト&マップのアプリ化	親子で利用しやすい店舗リスト&マップの活用を広げる目的で、アプリを作成	令和2年3月13日
		子育て世代を応援してもらえる市内の店舗を「親子で利用しやすい店舗」として登録し、冊子を作成して子育て世代に配布している。情報を得る手段としてアプリを活用する人が多い中、より幅広く利用してもらえると考え。また、店舗の新登録、修正も必要であることから、新しい情報を早く提供できるよう実現したい。	

## 公民連携課題リスト

6	フレイル予防啓発事業	フレイル予防や介護予防教室等でフレイル予防の啓発用物品を配布	令和2年3月13日
		加齢や生活習慣など持病の重症化により気力・体力など心身の活力が低下することにより、健康と要介護状態の間のような状態になり、放置すると健康や生活機能を損なうおそれがあるため、フレイル予防や介護予防の周知啓発を行う。	
7	高齢者の熱中症対策事業	高齢者の熱中症対策のイベントの開催や、啓発用物品の配布	令和2年3月13日
		温暖化により猛暑日が増加しているなか、高齢者の熱中症による救急搬送や死亡が増えているため、高齢者に適切な水分の取り方など対応策の周知啓発を行う。	
8	シティプロモーション事業	もっと知りたい、ずっと住みたいまちとして、特に若い世代に訴求するよう、まちのイメージアップ、認知度の向上を図る。	令和2年3月13日
		平成30年に策定した「四條畷市総合戦略【改訂】」にて、施策として「四條畷の魅力を内外へ発信する」としており、KPIを設定している。 また、2020年は市制施行50周年を迎える年でもあるためPRを行いたい。	
9	民間企業等行政実務研修員の受入れ	公民連携の一環として、民間活力を導入し市政の活性化と効率的な行政運営を図ることを目的として、民間企業等に勤務する従業員を研修員として受け入れる。	令和3年1月8日
		市では、民間企業等のノウハウや人材等を取り入れることにより、さらなる市民サービスの向上を図りたいと考えている。 派遣企業側にとっては、自治体の組織体制、予算、意思決定過程や専門用語などを学ぶことができ、自治体の立場を踏まえた調整提案能力を高めることが期待できる。	